

協約・協定改訂 職場要求を勝ち取ろうシリーズ ⑤

IC乗車券精算で列車遅延が慢性化 他社相互利用を可能にせよ！ 改札機設置駅を拡大せよ！

今年3月23日から、交通系ICカードの全国利用相互サービスが始まりました。しかし、JRや私鉄他社からの相互乗り入れは相変わらず利用できず、利用者は不便を強いられています。

無人駅におけるIC乗車券の精算（乗車駅から降車駅までの運賃を現金で精算し、なおかつ証明書を発行する）により、列車遅延が慢性化しています。飯田線で90分も遅延して新聞で問題にされましたことがありました。

飯田線では、名鉄線から乗車して豊橋駅経由で無人駅で下車した場合、名鉄線とJR線の両方の運賃を計算しなければなりません。倍の時間が要します。御殿場線の国府津口、身延線の甲府口ではスイカやパスモなどで下車する乗客は多数おり、決まった曜日の決まった列車に集中しています。また、熱海駅を挟んでJR東海とJR東日本を相互利用する乗客は相当な数です。

JR以外では、地方のバスやコンビニなどでIC乗車券が利用できます。なぜJR東海（一部の区間）では、JRの商品でもあるIC乗車券の利用ができないのでしょうか。リニアへの投資のため、在来線は関係ないというのでしょうか？

JR東海労は訴えます。JR他社や私鉄との相互利用を可能にせよ！IC乗車券対応改札機の設置駅を拡大せよ！

地方のバスやコンビニで使えど、なぜJR東海の乗車券がJRで使えないの？